

茨城県移動性・安全性向上委員会

第33回委員会資料 (安全性)

令和6年2月29日

国土交通省 常陸河川国道事務所
茨城県土木部

目次

1. これまでの経緯	p2
2. 第32回委員会における主な指摘事項と対応	p4
3. 令和5年度合同現地診断結果について	p8
4. 路面標示の検討について	p12
5. ゾーン30プラスについて	p15
6. 事故危険区間の対策完了(卒業)判定	p19
・【国管理】対策完了(卒業)判定	p22
・【国管理】中間評価	p23
・【県管理】対策完了(卒業)判定	p24
・【県管理】中間評価	p25
7. 今後の事故ゼロプランの進め方について	p26
8. 今後のスケジュール	p28

1. これまでの経緯

茨城県移動性・安全性向上委員会(安全性)の経緯

- ・事故ゼロプランは茨城県移動性・安全性向上委員会(安全性)での議論を踏まえ、PDCAサイクルに基づく対策の立案・実施・評価・追加対策の検討をしてまいりました。
- ・その中で事故ゼロプランを効果的に推進するため、新たに事故危険区間を選定するルール(基準)を設定し、現時点までで第1期～第7期の事故危険区間を選定し、検討を行ってきております。

■これまでの主な検討内容

年度	委員会	事故ゼロプランの検討内容
平成21年度	第1回	・事故危険区間抽出のためのパブリックコメント実施方針の検討
平成22年度	第2・3回	・事故危険区間529区間の選定(国146区間、県383区間) ・事故危険区間の代表61区間の設定(国52区間、県9区間)
平成23年度	第4回	・事故危険区間の対策方針の検討(個別調書の作成)
平成24年度	第5・6・7・8回	・事故ゼロプランの効果的な推進のためのルール検討(追加およびフォローアップ) ・新たな事故危険区間90区間(第2期事故危険区間)の設定(最新データによる選定:国23区間、県67区間)
平成25年度	第9・10・11回	・新たな事故危険区間24区間(第2期事故危険区間)の追加(アンケートによる選定:国14区間、県10区間) ・第3次事故危険箇所41箇所を事故ゼロプランとして位置づけ(H25事故危険箇所:国13区間、県28区間)
平成26年度	第12・13・14回	・新たな事故危険区間126区間(第3期事故危険区間)の選定(最新データおよびITデータによる選定:国69区間、県57区間)
平成27年度	第15・17回	・第4次事故危険箇所30箇所を事故ゼロプランとして位置づけ(H29事故危険箇所:国11区間、県19区間)
平成28年度	第18・19回	・新たな事故危険区間64区間(第4期事故危険区間)の選定(最新データおよび最新指標値による選定:国35区間、県29区間)
平成29年度	第20・21回	・新たな事故危険区間(第5期事故危険区間)の検討
平成30年度	第22・23回	・新たな事故危険区間103区間(第5期事故危険区間)の設定 (最新データおよび最新指標値による選定:国19区間、県84区間)
令和元年度	第25回	・新たな事故危険区間21エリア(第5期事故危険区間(エリア))の設定(最新データによる選定:国4エリア、県17エリア)
令和2年度	第26回・第27回	・新たな事故危険区間(第5期事故危険区間(エリア))の設定 ・対策完了(卒業)ルールの検討
令和3年度	第28回・第29回	・新たな事故危険区間(第6期事故危険区間)の選定(最新データおよび最新指標値による選定:国27区間、県20区間) ・第5次事故危険箇所29箇所を事故ゼロプランとして位置づけ(事故危険箇所:国11区間、県18区間) ・対策完了(卒業)判定の結果、国80区間、県77区間が対策完了と判定
令和4年度	第30回・第31回	・新たな事故危険区間(第6期事故危険区間)・対策効果未発現箇所の対策検討 ・対策完了(卒業)判定の結果、国31区間、県26区間が対策完了と判定 ・新たな事故危険区間(第7期事故危険区間)の選定方針の検討
令和5年度	第32回	・対策効果未発現箇所の対策検討 ・新たな事故危険区間(第7期事故危険区間)の選定(最新データおよび最新指標値による選定:国12区間、県10区間)

2. 第32回委員会における主な指摘事項と対応

- 交通マナー向上のための施策検討について
- ETC2.0等を用いた情報発信について
- 横書きの路面標示について

第32回委員会における主な指摘事項と対応

- ・第32回委員会でご指摘を頂いた事項について、対応方針を整理しました。

議事	指摘事項	対応方針
交通マナー向上のための 施策検討について	広報案について、見た人の心に 響くようなメッセージを考えてほし い。	修正案を作成。(p6)
ETC2.0等を用いた情報発信 について	ETC2.0等を用いて「この先は事 故が多発」などの情報発信を行う ことはできないのか検討してほし い。	事故情報発信の実施方法について検討。(p7)
横書きの路面標示について	文字の大きさ等、標示方法につい て、他の事例を参考に検討してほ しい。	参考事例の収集や合同現地診断で頂いた意見及びWEBアンケート を実施し、表示方法について検討。(p13~p14)

交通マナー向上のための施策検討について

- ・前回委員会で頂いた意見を元に広報案の方を検討しました。
- ・今後、県内のマナー向上に向け、関連機関のホームページやSNS等を通じて情報発信を行っていきます。

■委員会での意見

- ・見た人の心に響くようなメッセージにしてほしい
- ・本委員会ならではの思い切ったものにしてほしい
- ・「カッコ悪い」「運転が下手」などの表現は心に響くと思う
- ・子供が指さして笑っているなどは心に響くと思う

皆が迷惑その運転!
カッコ悪いぞ その運転!

こんな運転 子供たちに 見せられますか?

無理な追越し

淡城ダッシュ!

あおり運転

あおりハンドル

あれッて、運転下手すぎるよね

そうだね、カッコ悪いわね

茨城県は悪質違反による死亡事故が多発!!

茨城県	24%
全国	14%

死亡事故の悪質違反の割合(R3)

マナーの悪化が重大な事故や死亡事故につながります。
運転は、周囲を考慮し、安全であることが最も大切です。

茨城県の運転マナー向上にご協力下さい!

茨城県移動性・安全性向上委員会

ETC2.0等を用いた情報発信について

- ・道路管理者および公安管理者の行っている情報発信は「電波ビーコン(ETC2.0)」「光ビーコン」「FM多重放送」などがあります。
- ・「電波ビーコン(ETC2.0)」は主に高速道路、「光ビーコン」は主に一般道に設置されています。
- ・県警では、光ビーコンによる事故の注意喚起を行っている事例があります。(一般国道6号 小浮気交差点)
- ・当面の対応としては、光ビーコンで情報発信を行うことを予定しています。
- ・電波ビーコンによる発信は今後、調整を進めていく予定です。

■情報発信方法と設置位置

	FM多重放送		光ビーコン	電波ビーコン	
	従来サービス	VICS WIDE	光ビーコン	2.4GHz帯	ETC 2.0 (5.8GHz帯)
カバー範囲	都道府県単位の道路情報	都道府県単位の道路情報	前方30km、後方1kmの主に一般道の情報	前方200kmの主に高速道路の情報	前方1,000kmの主に高速道路の情報
提供内容	自車位置、目的地に関係なく広域の道路情報	自車位置、目的地に関係なく広域の道路情報+特別警報・大雨情報	自車位置をもとにした進行方向の詳細な道路情報	自車位置をもとにした進行方向の詳細な道路情報	自車位置をもとにした進行方向の詳細な道路情報
渋滞回避ルート案内	なし	あり	あり	あり	あり
情報受信に必要な機器	VICS対応カーナビ (VICS WIDE含む)	VICS WIDE対応カーナビ	光ビーコンユニット	電波ビーコンユニット	ETC2.0車載器等
簡易図形等					
文字情報					
地図表示					
		2015年4月よりサービス開始		2022年サービス停止 ETC2.0に一本化	

■光ビーコンによる注意喚起事例



■調整中の代表箇所 (学園東大通り入口交差点)



3. 令和5年度合同現地診断結果について

令和5年度 合同現地診断実施箇所

合同現地診断の目的

事故危険区間及び事故危険箇所に選定された箇所、要望のあった箇所において、現地の状況を確認し、事故要因や対策内容について検討していただきます。

現地診断箇所

事故が多発している箇所や新たな対策を検討している箇所

■一般国道6号 中(区間)

- ・多発している追突事故の要因について現地を確認
 - ・横文字の路面標示による対策の妥当性を確認
- ⇒結果の詳細については、「路面標示の検討について」(p13～p14)に記載

■一般国道125号 (仮)右廻りグラウンド北交差点

- ・多発している右折事故、追突事故の事故要因について現地を確認
- ⇒結果の詳細については、p10～p11に記載

合同現地診断箇所

- : 集合場所
- : 総括実施場所
- : 現地診断箇所

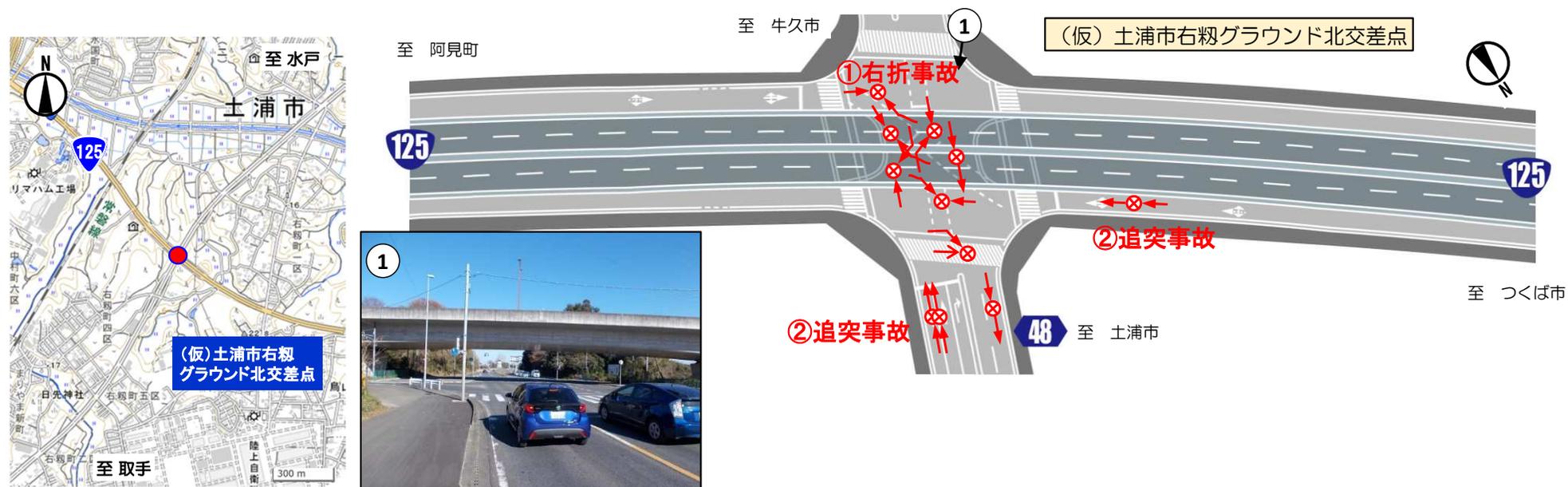


令和5年度 合同現地診断結果

箇所名	路線番号	住所	位置づけ
(仮)土浦市右糺グラウンド北交差点	国道125号	土浦市右糺付近	第6期事故危険区間

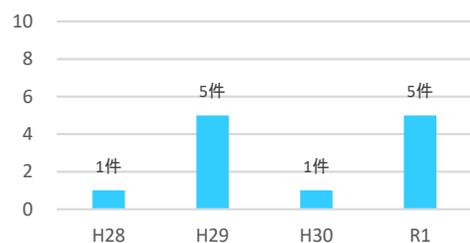
① 対策前の交通安全上の課題

●(仮)土浦市右糺グラウンド北交差点では、交差点内での右折事故や交差点手前での追突事故が多発している。

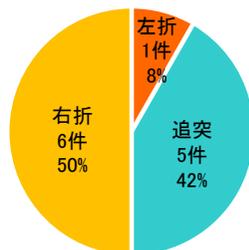


【対策前】事故発生状況

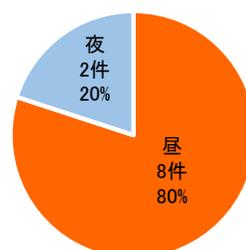
【事故件数推移】



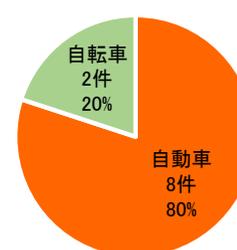
【事故類型】



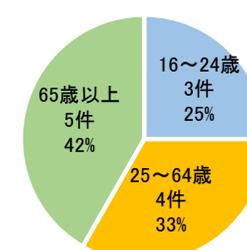
【昼夜別】



【当事者別】



【年齢別】



令和5年度 合同現地診断結果

箇所名	路線番号	住所	位置づけ
(仮)土浦市右拐グラウンド北交差点	国道125号	土浦市右拐付近	第6期事故危険区間

②現地診断の意見

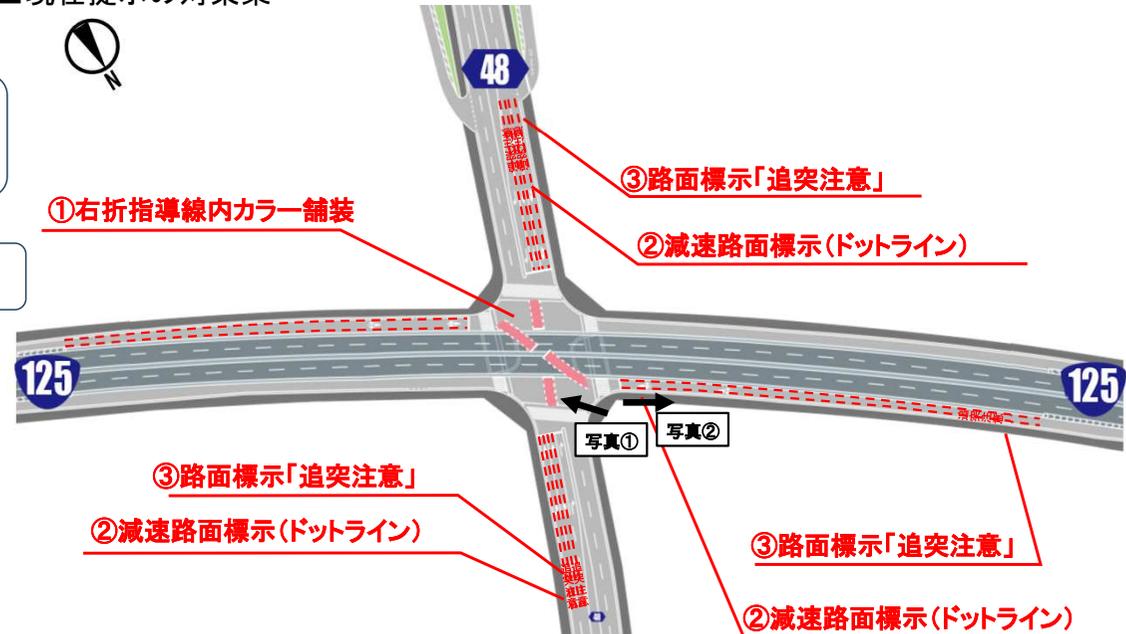
【意見】

- ・改良案としての意見は様々出たが、まずは現在提示の対策案を実施して効果を見て必要により追加対策を検討してはどうか。
- ・国道125号線から県道48号への右折車が、片側2車線のうちの左側車線に入る事象が多い。交差点内の指導線の案内などは、指導線の改良(片側2車線の右側に右折の車両を誘導する)などで実施できることも考えられる。これに関しては、交差点内の事となるので、交通管理者と調整しながら可能であれば対応するのが望ましい。
- ・国道125号線側が立体となっていて、側道部で直進する車両は基本的にいないことから、対向直進車がいた際に注意がおろそかになっていて事故に繋がっていることが考えられる。
- ・土浦市内の同様の構造をした他の場所では、一方向が青で流れている間、反対方向が赤で止まっている信号現示での処理を行っている所もあることから、当該箇所でも同様の信号現示だと勘違いしてしまっていることも考えられる。
- ・国道125号線は見通しの悪さが課題となっていることから、歩道を削って車線を増やしたり、寄せたりすることで、見通しが改善する事が考えられる。
- ・側道には現状、法定外看板がついていない。追加検討する場合は考えてはどうか。

■現地写真



■現在提示の対策案



4. 路面標示の検討について

路面標示の検討について

- ・前回の委員会での議論や、中(区間)での合同現地診断において、横書きの路面標示の配置方法、カラー舗装と合わせた表示、メッセージ性を向上させた表現などについて意見がありました。
- ・次の頁では、WEBアンケートによって路面標示の見やすさの比較を行った結果をまとめています。

■前回の委員会での意見、合同現地診断結果

- ・文字の大きさ等について、他の事例を参考に検討してはどうか。
- ・文字の配置について、車のわだちにより文字が消えやすいと考えられるため2文字2列で配置してはどうか。
- ・その場合、固めて2文字2列で表示する方法と、やや離して2文字ずつにする方法が考えられる。
- ・事故の特色を考えて、「追突注意」の他、「事故多発」「車間確保」などの文字なども考えられる。
- ・三郷と同じようにカラーの横線と合わせて横文字の路面標示を記載した方がより目立つと考えられる。
- ・対策の路面標示の位置は、区間の手前で注意喚起できる位置にする方が良い。
- ・横断歩道が500m程度離れているので横断者状況を把握しながら対策を講じること。

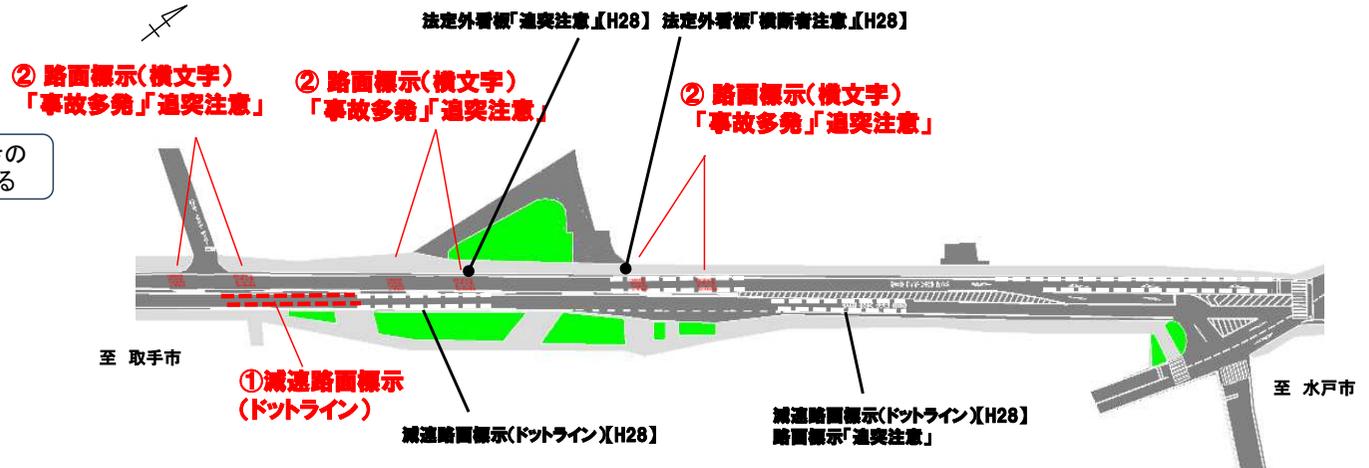
■現地写真



交差点に向かって上り坂であり、速度が低下

車間が狭くなりやすく、横書きの路面標示が有効と考えられる

■現在提示の対策案



■三郷での事例 (常磐自動車道)



航空写真はGoogleMapより

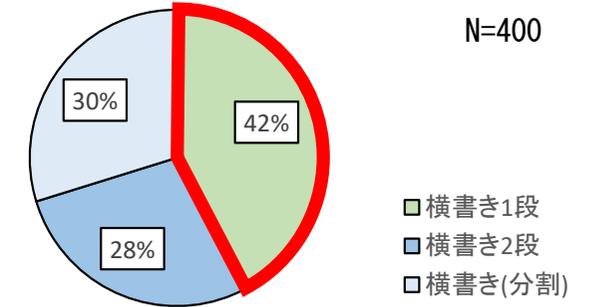
路面標示の検討について

- ・配置方法: 回答の42%が「横書き1段」が最もわかりやすいと回答
- ・表示内容: 47%が「追突注意」が最も気を付けようと思ったと回答
- ・カラー舗装による強調: 回答の91%がカラー舗装の囲みがある場合のほうが注意すると回答

■横文字での配置方法の比較



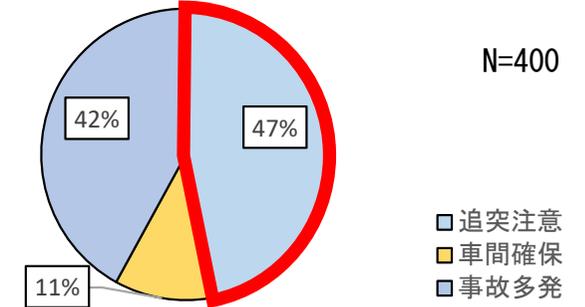
Q どれが最もわかりやすいですか



■表示内容の比較



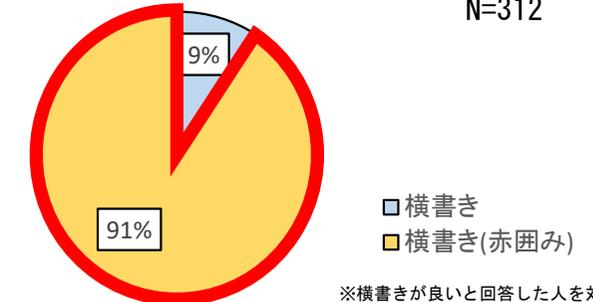
Q どれが最も気を付けようと思いますか



■囲み文字の比較



Q どちらが注意しますか



※横書きが良いと回答した人を対象

5. ゾーン30プラスについて

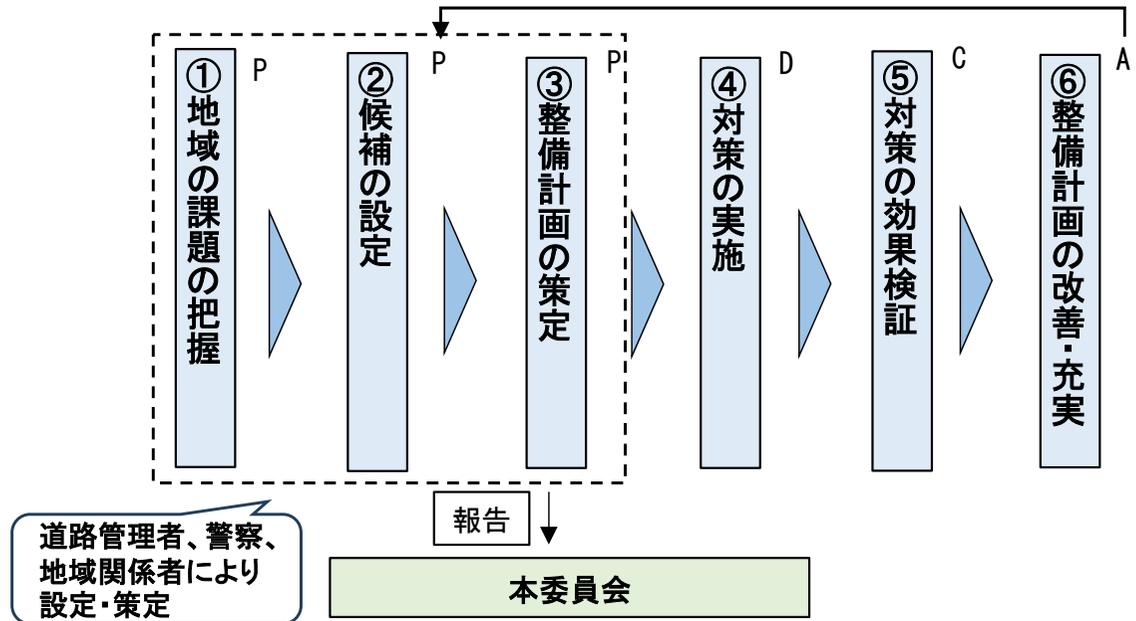
ゾーン30プラスについて

- ・国土交通省と警察庁が連携して進める生活道路の交通安全施策「ゾーン30 プラス」は、令和3年8月に施策を開始しました。
- ・県内では生活道路対策エリアに139箇所登録されており、そのうち「ゾーン30 プラス」には4箇所が登録されています。
- ・ゾーン30プラスでは道路管理者、警察、地域関係者が主体となって策定した計画を本委員会に報告します。

■新たな連携施策「ゾーン30プラス」について



■ゾーン30プラスの取り組みフロー



■県内の生活道路対策エリア (139エリア)

市区町村	エリア数	市区町村	エリア数	市区町村	エリア数
水戸市	31(1)	常陸大宮市	3(2)	美浦村	1
古河市	5	那珂市	4	境町	7
石岡市	7	筑西市	2	日立市	10
結城市	2	桜川市	4	常陸太田市	3
高萩市	4	行方市	3	下妻市	3
北茨城市	1	鉾田市	3	大子町	9
笠間市	2	小美玉市	7	利根町	3
つくば市	9(1)	茨城町	4	阿見町	1
ひたちなか市	4	大洗町	2	牛久市	1
守谷市	2	城里町	2		

ゾーン30プラスについて

水戸市堀地区で、地域住民、警察、学校関係者、道路管理者、交通安全協会、防犯協会と合意形成を図りながら、交通規制、物理的デバイス設置等の「ゾーン30プラス」の整備計画案を作成

概要

位置図

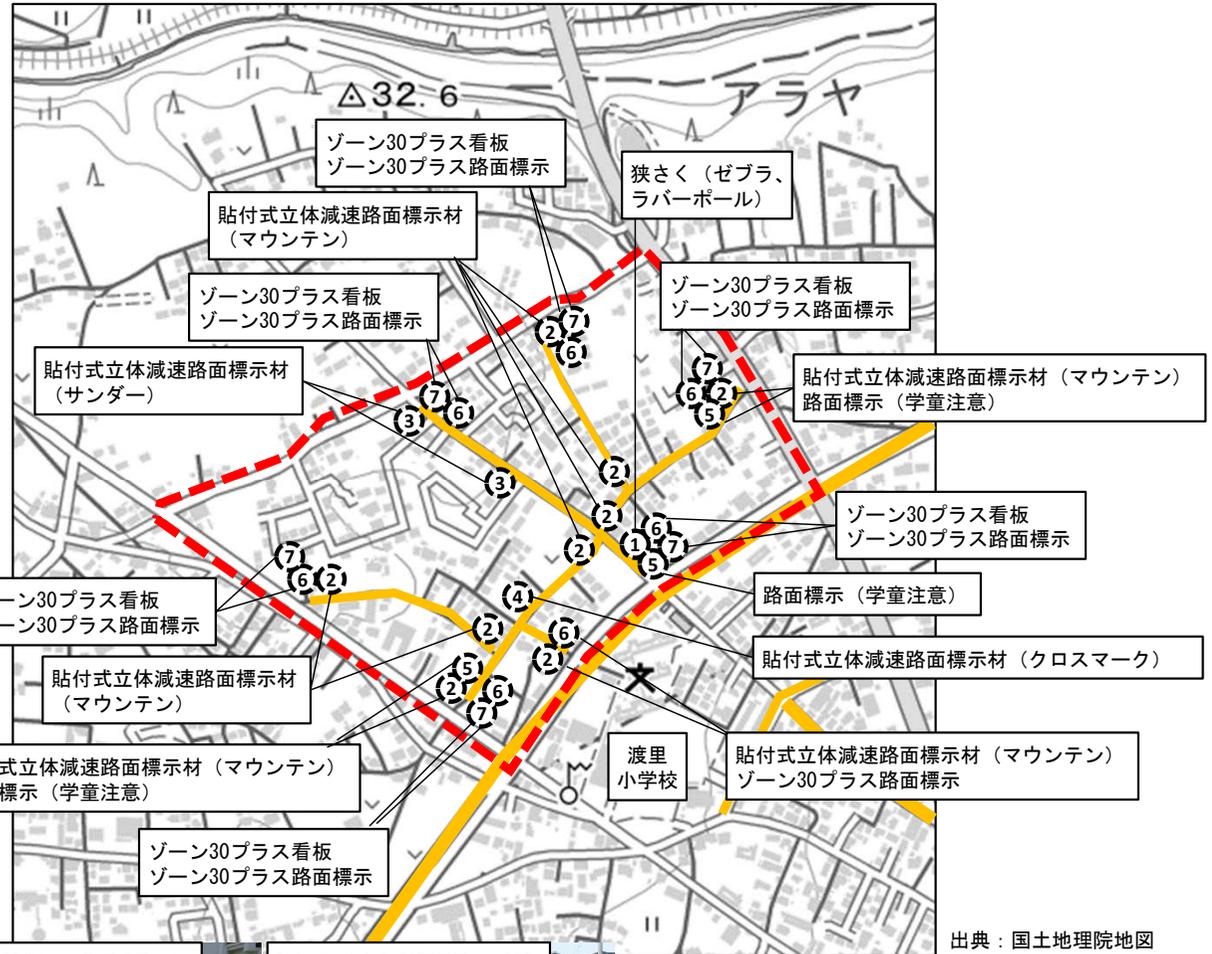


計画作成年月

- R6. 1

推進体制

- ・ 水戸警察署
- ・ 水戸市 生活安全課
- ・ 水戸市 道路管理課
- ・ 水戸市教育委員会
- ・ 水戸地区交通安全協会水戸支部
- ・ 水戸地区防犯協会渡里分会
- ・ 渡里住民の会



水戸市堀地区 対策内容

No	対策内容
1	狭さく(ゼブラ、ラバーポール)
2	貼付式立体減速路面標示材(マウンテン)
3	貼付式立体減速路面標示材(サンダー)
4	貼付式立体減速路面標示材(クロスマーク)
5	路面標示(学童注意)
6	ゾーン30プラス路面標示
7	ゾーン30プラス看板
8	交通違反取締
9	パトロール

狭さくの事例(神奈川県横浜市)



貼付式立体減速路面標示材の事例(滋賀県栗田町)



出典：国土地理院地図

凡例

- 整備区域(ゾーン30プラス)
- ⋯ 整備区域に含まれない外周道路
- 通学路
- ⊙ 対策予定

ゾーン30プラスについて

・水戸市堀地区に隣接する渡里地区では、令和4年度中に「ゾーン30プラス」を整備済

「ゾーン30プラス」整備計画(茨城県水戸市 渡里地区)

■地区

・茨城県水戸市渡里・堀地区



■主な対策内容

【警察(水戸警察署(TEL:029-233-0110))】

・最高速度の規制

【道路管理者(水戸市役所道路管理課(TEL:029-232-9195))】

・狭さく、イメージハンプ、路面表示

【地域(渡里小学校、地域住民等)】

・登下校時の見守り活動

※ 対策内容の詳細については、上記の問い合わせ先にご連絡ください。

■推進体制

- ・水戸警察署
- ・水戸市
- ・水戸市教育委員会
- ・水戸地区交通安全協会
水戸支部

■対策の実施状況

(出典:国土地理院地図)



狭さく



イメージハンプ



ゾーン30プラス看板



ゾーン30プラス路面表示

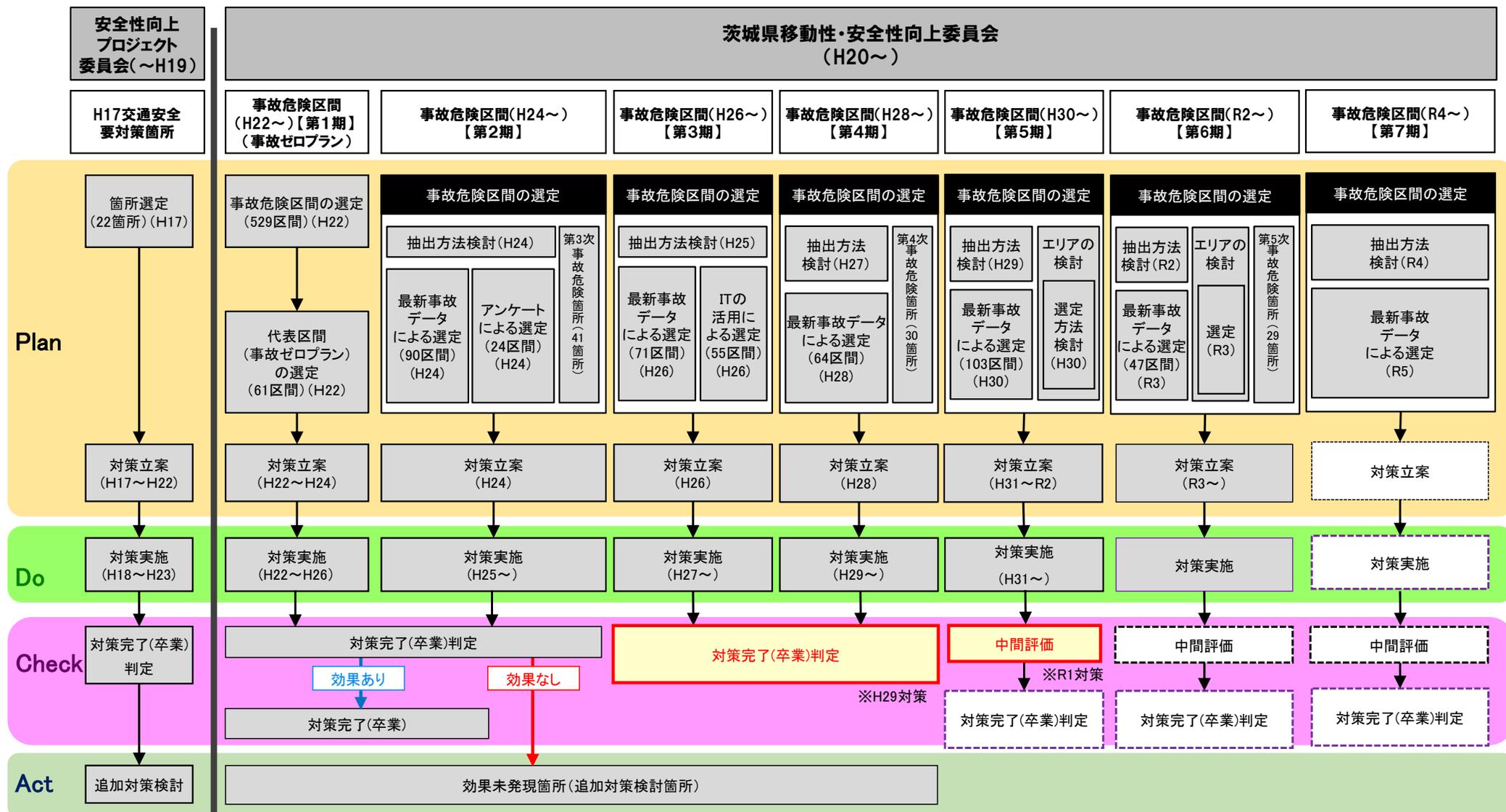
凡例	
	ゾーン30プラス
	ゾーン30プラス 看板・路面表示
	対策済
	対策予定
	物理的デバイス 対策済
	対策予定
	規制等 対策済
	対策予定
	その他ハード対策 対策済
	対策予定
	ソフト対策 実施中
	実施予定

※ 今後、実施した対策の効果検証を行い、更なる対策の必要性等について検討していきます。(P D C Aサイクルの継続的な取組)

6. 事故危険区間の対策完了(卒業)判定

事故ゼロプランの取り組みについて

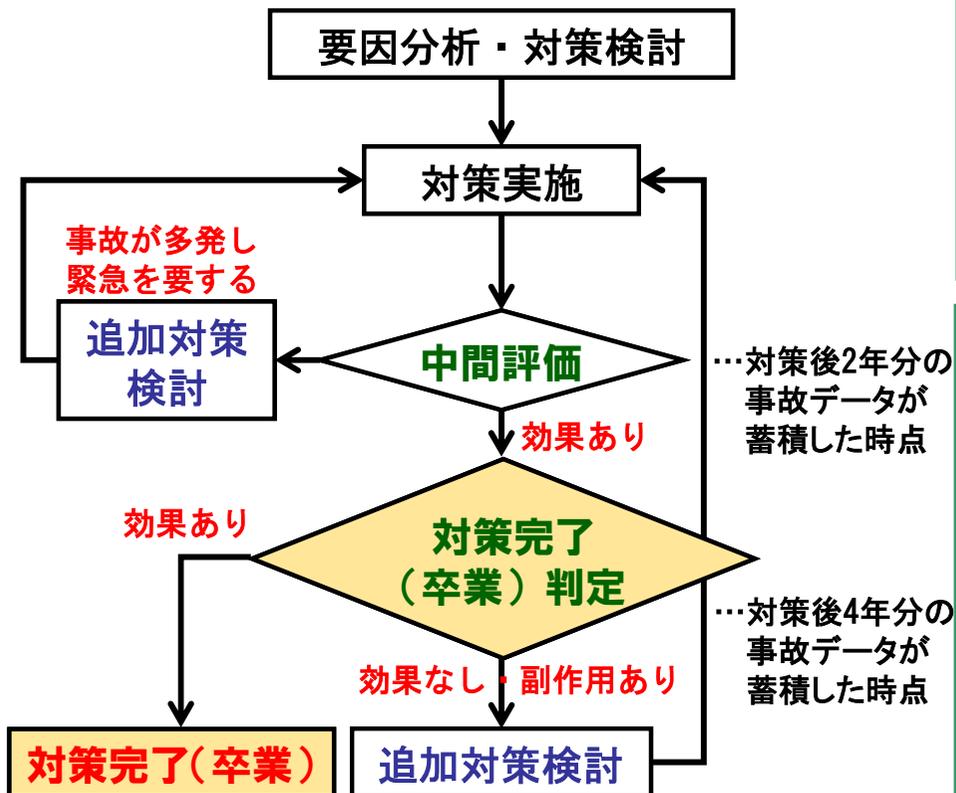
- ・第32回の安全性向上委員会では、「最新事故データによる選定(第7期)」「第6期事故危険区間の対策検討」「効果未発現箇所(追加対策検討箇所)」について、確認して頂きました。
- ・今回の委員会では、「対策実施箇所の対策完了(卒業判定)」「対策実施箇所の中間評価」について取り上げます。



事故ゼロプラン対策完了(卒業)の考え方について

- ・対策実施後の事故データが4年分蓄積した時点で、「対策完了(卒業)判定」を実施(第27回委員会で承認)
- ・判定は、以下の内容で評価を行います。
 - ①事故件数の減少に閾値を設ける(選定時と比較し4割以上減少しているかどうかを確認)
 - ②「最新(第7期)」の事故危険区間選定指標の合致状況を確認

■新たなフォローアップ・対策完了(卒業)判定の実施フロー



中間評価

■対象

対策実施後の事故データが2年分蓄積した箇所

■効果評価の視点

- ①対策前後で交通事故発生件数(総量)を比較(事故減少検証)
- ②対策前後で事故の種類(着目事故)の変化や当事者別の発生件数を比較(副作用検証)

対策完了(卒業)判定

■対象

対策実施後の事故データが4年分蓄積した箇所

■効果評価の視点

- ①対策前後で交通事故発生件数(総量)を比較(選定時と比較し4割以上減少しているかどうかを確認)
 - ②最新(第7期)の事故危険区間選定指標に該当しないことを確認
- ⇒①、②の両方を満たす箇所を対策完了(卒業)とする
ただし、事故データ以外で選定された箇所(アンケート等)については対策前の事故が少ないことも考えられるため、②の判定のみとする。

【国管理】対策完了(卒業)判定

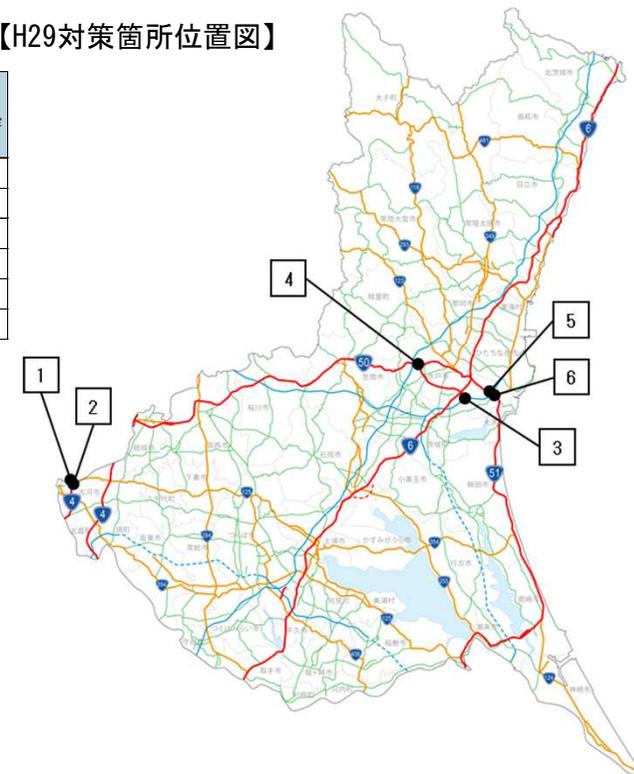
・H29年に6箇所対策を実施し、全箇所対策完了の判定となりました。

【H29対策箇所（対策完了（卒業）判定）】

区番	区分	ID	管理	路線名	市町村	箇所名	対策年	総事故件数 (件/4年)			死傷事故率 (件/億キロ)	選定指標 (件/4年)											対策完了 (卒業)判定			
								対策前 (選定時)	対策後	4割以上減少		死亡者数	歩行者自転車事故	夜間事故	子供事故	高齢者事故	横断歩行者事故	追突事故	正面衝突事故	工作物衝突事故	二輪車事故	指標該当				
																								対前	対後	減少
1	第2期(事故データ) H25事故危険箇所	91	国	一般国道4号	古河市	(仮)三杉町交差点北(区間)	H29	14	1	○	15.7	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	○
2	第2期(事故データ)	92	国	一般国道4号	古河市	(仮)古河第六小東交差点	H29	10	4	○	227.8	1	1	2	1	2	0	1	0	0	0	1			○	
3	第3期(ITデータ)	341	国	一般国道6号	水戸市	けやき台中央交差点付近(区間)	H29	11	2	○	68.7	0	1	1	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	○
4	第3期(ITデータ)	366	国	一般国道50号	水戸市	双葉台団地入口交差点	H29	13	6	○	93.0	0	0	5	0	1	0	3	0	0	0	0	0	0	0	○
5	第3期(ITデータ)	378	国	一般国道51号	水戸市	大車町高架下交差点	H29	7	1	○	36.5	0	1	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	○
6	第3期(ITデータ)	379	国	一般国道51号	水戸市	水戸大洗インター交差点付近(区間)	H29	7	2	○	96.0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	○

※事故データ(H30～R3)

【H29対策箇所位置図】



【第7期選定指標】

	選定指標	選定基準
基本指標	死傷事故率	300 件/億台キロ以上
	死傷事故件数	16 件以上/4年
	死者数	2 人以上/4年
地域指標	歩行者自転車事故	8 件以上/4年
	夜間事故	9 件以上/4年
	子供事故	2 件以上/4年
	高齢者事故	5 件以上/4年
	横断歩行者事故	5 件以上/4年
	追突事故	13 件以上/4年
	正面衝突事故	2 件以上/4年
新たな指標	工作物衝突事故	1 件以上/4年
	二輪車事故	3 件以上/4年

注1) 国管理は総事故件数が4件/4年以上の区間を選定指標確認の対象とする(4件/4年未満の箇所は対象としない)

注2) 第3期(ITデータ)で選定された箇所は、アンケートに基づき選定しているため、4割減少の確認の対象としない。

注3) 対策前は最新の事故データに基づく条件で集計範囲を見直している

■ : 指標該当 — : 対象外

【国管理】中間評価

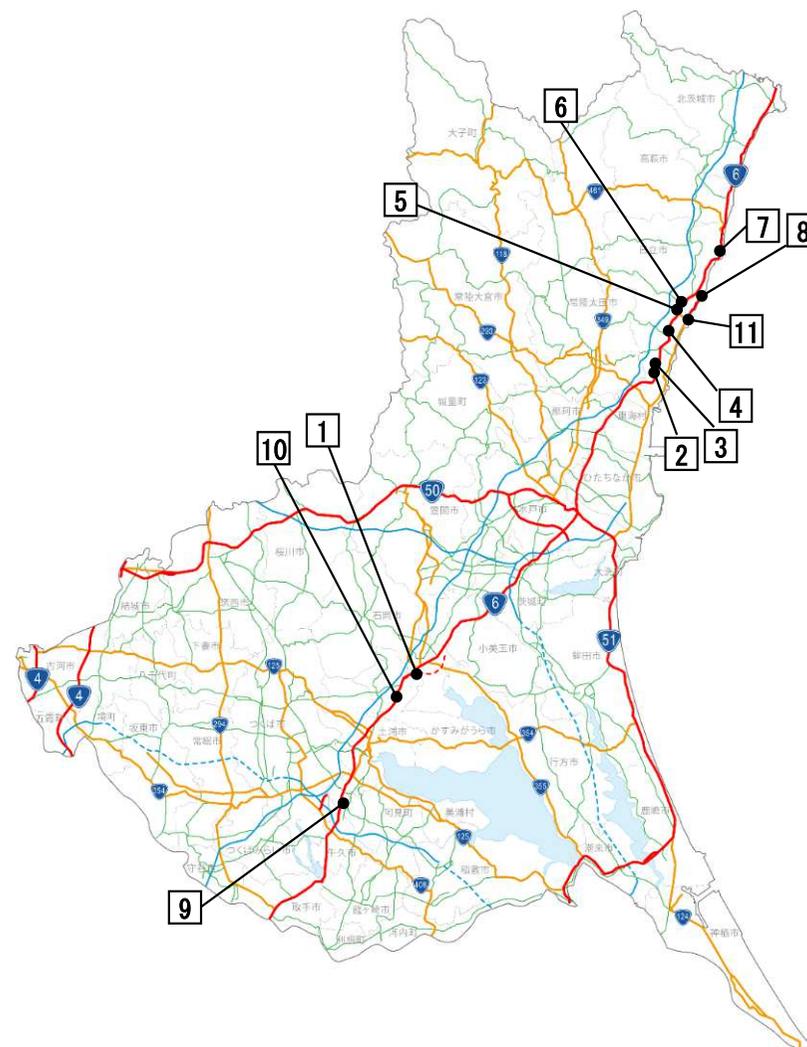
・R1年に11箇所の対策を実施し、中間評価の結果、事故件数の増加、着目事故の変化がないことが確認出来ます。

【R1対策箇所（中間評価箇所）】

※事故データ(R2~R3)

図番	区分	管理	路線名	市町村	箇所名	対策年	総事故件数 (件/年)			着目事故件数 (件/年)			
							対策前	対策後	総事故増加	着目事故	対策前	対策後	着目事故増加
1	第4期(事故データ)	国	一般国道6号	かすみがうら市	新治小入口交差点付近(区間)	R1	2.0	1.0		追突事故	1.5	0.5	
2	第4期(事故データ) H29事故危険箇所	国	一般国道6号	日立市	森山町2丁目(区間)	R1	5.8	2.0		正面衝突	0.5	0.5	
										追突事故	3.8	1.0	
3	第4期(事故データ)	国	一般国道6号	日立市	森山町2丁目交差点付近(区間)	R1	5.0	1.0		人対車両	0.5	0.0	
										追突事故	3.8	0.5	
4	第4期(事故データ)	国	一般国道6号	日立市	鮎川橋交差点	R1	3.0	1.0		追突事故	1.8	0.0	
5	第4期(事故データ)	国	一般国道6号	日立市	国道245号入口交差点付近(区間)	R1	3.8	1.0		追突事故	3.3	1.0	
										追突事故	1.3	0.0	
6	第4期(事故データ)	国	一般国道6号	日立市	神峰町4丁目(交差点)	R1	2.5	0.5		左折時	0.3	0.0	
										人対車両	0.3	0.0	
										追突事故	1.3	0.0	
7	第4期(事故データ)	国	一般国道6号	日立市	小木津駅入口交差点付近(区間)	R1	1.8	0.0		出会頭事故	0.3	0.0	
										追突事故	1.5	1.0	
8	第4期(事故データ)	国	一般国道6号	日立市	東滑川町5丁目交差点	R1	2.0	2.0		右折時	0.5	0.5	
										正面衝突	0.3	0.0	
9	第5期(事故データ)	国	一般国道6号	土浦市	荒川沖一里塚交差点付近(区間)	R1	1.0	0.5		追突事故	0.8	0.0	
10	第5期(事故データ)	国	一般国道6号	かすみがうら市	千代田庁舎入口交差点付近(区間)	R1	1.3	0.0		正面衝突	0.5	0.0	
										追突事故	0.5	0.5	
11	第5期(事故データ)	国	一般国道6号	日立市	旭町交差点	R1	1.5	1.0		追突事故	0.5	0.5	

【R1対策箇所位置図（国管理）】



注1) 対策前は最新の事故データに基づく条件で集計範囲を見直している

【県管理】対策完了(卒業)判定

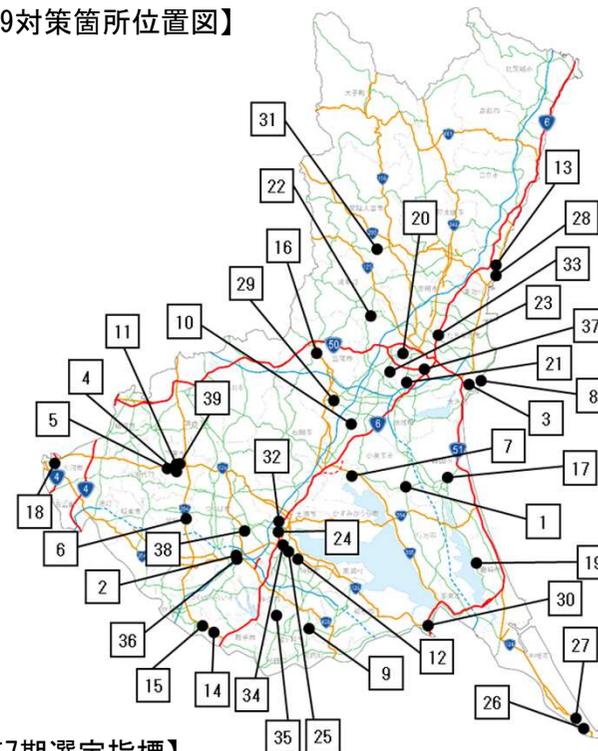
- ・H29に対策を実施した箇所は39箇所あり、37箇所に対策完了の判定となりました。
- ・残る2箇所は、追加対策内容を検討し事故の削減を進めます。

【H29対策箇所(対策完了(卒業)判定)】

区画	区分	ID	管理	路線名	市町村	箇所名	対策年	総事故件数(件/4年)		4割以上減少	死傷事故率(件/1000人)	選定指標(件/4年)											対策完了(卒業)判定		
								対策前(選定時)	対策後			死亡者数	歩行者自転車事故	夜間事故	子供事故	高齢者事故	横断歩行者事故	追突事故	正面衝突事故	工作物衝突事故	二輪車事故	指標該当			
1	第2期(事故データ)	18	県	主要地方道8号	行方市	上山交差点	H28	10	4	○	518.5	0	0	1	0	2	0	1	0	0	0	0	0	—	○
2	第2期(事故データ)	31	県	主要地方道19号	つくば市	石居交差点	H28	11	4	○	210.7	1	1	2	0	2	0	2	0	0	1	—	○		
3	第2期(事故データ)	73	県	主要地方道2号	東茨城郡大洗町	大洗駅入口交差点	H28	9	3	○	39.4	1	0	1	0	1	0	2	0	1	0	—	○		
4	第3期(事故データ)	122	県	一般県道125号	下妻市	小野子1字路交差点	H28	8	1	○	39.5	0	0	0	0	0	1	0	0	0	—	○			
5	第3期(事故データ)	123	県	一般県道125号	下妻市	長塚三差路交差点	H28	12	2	○	78.9	0	2	0	1	0	0	0	0	0	—	○			
6	第3期(事故データ)	126	県	一般県道294号	常総市	石下高校南交差点	H28	8	2	○	68.4	0	1	0	0	2	0	0	0	0	—	○			
7	第3期(事故データ)	137	県	一般県道355号	小美玉市	栗又四ヶ(区間)	H28	16	4	○	69.8	0	1	1	0	2	1	2	0	0	—	○			
8	第3期(事故データ)	139	県	主要地方道2号	東茨城郡大洗町	東光台前交差点	H28	12	4	○	212.9	0	1	0	0	2	0	0	0	0	—	○			
9	第3期(事故データ)	143	県	主要地方道5号	龍ヶ崎市	半田町交差点	H28	9	3	○	148.4	0	0	1	0	1	0	2	0	0	—	○			
10	第3期(事故データ)	153	県	主要地方道52号	小美玉市	納場十字路交差点	H28	9	2	○	113.4	0	0	1	0	2	0	0	0	0	—	○			
11	第3期(事故データ)	157	県	一般県道131号	下妻市	本宿町1丁目(交差点)	H28	9	2	○	128.2	0	1	1	0	1	0	0	0	0	1	—	○		
12	第4期(事故データ)	180	県	一般県道125号	稲敷郡阿見町	中郷2丁目(区間)	H28	12	1	○	51.2	0	0	1	0	0	0	1	0	0	0	—	○		
13	第4期(事故データ)	181	県	一般県道245号	日立市	水木町1丁目(交差点)	H28	11	1	○	28.3	0	1	1	0	0	1	0	0	0	—	○			
14	第4期(事故データ)	182	県	一般県道294号	取手市	寺田(区間)	H28	9	3	○	49.9	1	2	2	0	2	1	1	0	0	—	○			
15	第4期(事故データ)	183	県	一般県道294号	取手市	米ノ井(区間)	H28	8	3	○	47.4	0	0	1	0	2	0	2	0	0	1	—	○		
16	第4期(事故データ)	186	県	一般県道311号	笠間市	笠間駅入口交差点	H28	8	0	○	0.0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	—	○			
17	第4期(事故データ)	188	県	主要地方道2号	鉾田市	鉾田土木前交差点	H28	9	3	○	139.2	0	0	3	0	1	0	2	0	0	1	—	○		
18	第4期(事故データ)	190	県	主要地方道9号	古河市	中央町1丁目(区間)	H28	11	3	○	59.2	0	2	1	0	1	0	0	0	0	—	○			
19	第4期(事故データ)	191	県	主要地方道18号	鹿嶋市	棚木(交差点)	H28	9	1	○	59.8	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	—	○		
20	第4期(事故データ)	195	県	主要地方道30号	水戸市	見川2丁目(交差点)	H28	8	6	×	240.7	0	4	3	1	2	2	2	0	0	—	×			
21	第4期(事故データ)	198	県	主要地方道50号	水戸市	平須町(区間)	H28	12	3	○	47.7	0	1	1	1	1	0	2	0	0	—	○			
22	第4期(事故データ)	199	県	主要地方道51号	東茨城郡城里町	小松交差点	H28	8	2	○	299.8	0	0	1	0	2	0	0	0	0	1	—	○		
23	第4期(事故データ)	200	県	主要地方道59号	水戸市	菅塚町(交差点)	H28	8	2	○	183.3	0	0	0	0	0	0	1	0	0	—	○			
24	第4期(事故データ)	202	県	一般県道123号	土浦市	上高津(区間)	H28	9	4	○	33.1	0	0	0	0	1	0	2	1	0	—	○			
25	第4期(事故データ)	204	県	一般県道203号	稲敷郡阿見町	阿見(区間)	H28	12	3	○	54.2	0	2	1	0	3	1	1	0	0	—	○			
26	H29事故危険箇所	215	県	一般県道124号	神栖市	本新町交差点	H28	9	0	○	0.0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	—	○			
27	H29事故危険箇所	216	県	一般県道124号	神栖市	波崎(区間)	H28	9	5	○	60.7	0	0	1	0	0	0	4	0	0	—	○			
28	H29事故危険箇所	218	県	一般県道245号	日立市	大みか町4丁目(区間)	H28	8	1	○	14.3	0	0	1	0	1	0	1	0	0	—	○			
29	H29事故危険箇所	219	県	一般県道355号	笠間市	押辺(区間)	H28	15	9	○	104.6	0	0	0	0	2	0	7	1	0	1	—	○		
30	H29事故危険箇所	221	県	主要地方道11号	稲敷市	西代(区間)	H28	11	1	○	10.7	0	0	1	0	0	0	0	0	0	—	○			
31	H29事故危険箇所	223	県	主要地方道21号	常陸大宮市	若林(区間)	H28	9	1	○	11.9	0	0	0	0	0	0	1	0	0	—	○			
32	H29事故危険箇所	224	県	主要地方道24号	土浦市	粕毛(交差点)	H28	10	5	○	107.7	0	1	2	1	1	0	1	0	0	1	—	○		
33	H29事故危険箇所	225	県	主要地方道38号	ひたちなか市	市毛十字路交差点付近(区間)	H28	10	3	○	67.9	0	0	1	0	0	0	3	0	0	—	○			
34	H29事故危険箇所	227	県	主要地方道48号	土浦市	小岩田西2丁目(交差点)	H28	10	4	○	517.2	0	0	2	0	1	0	2	0	0	1	—	○		
35	H29事故危険箇所	228	県	主要地方道48号	龍ヶ崎市	若菜町(区間)	H28	8	2	○	27.9	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	—	○		
36	H29事故危険箇所	229	県	一般県道143号	つくば市	谷田部(区間)	H28	10	6	○	102.3	1	1	2	0	3	0	3	0	0	1	—	○		
37	H29事故危険箇所	230	県	一般県道180号	水戸市	元吉田町(区間)	H28	11	2	○	33.0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	—	○			
38	H29事故危険箇所	231	県	一般県道237号	つくば市	香妻1丁目南交差点	H28	12	11	×	216.3	0	0	4	0	2	0	3	0	0	1	—	×		
39	H29事故危険箇所	233	県	一般県道357号	下妻市	小島(区間)	H28	9	2	○	31.0	0	2	1	0	1	1	0	0	0	—	○			

※事故データ(H30~R3)

【H29対策箇所位置図】



【第7期選定指標】

	選定指標	選定基準
基本指標	死傷事故率	300 件/億台キロ以上
	死傷事故件数	16 件以上/4年
	死者数	2 人以上/4年
	歩行者自転車事故	8 件以上/4年
地域指標	夜間事故	9 件以上/4年
	子供事故	2 件以上/4年
	高齢者事故	5 件以上/4年
	横断歩行者事故	5 件以上/4年
	追突事故	13 件以上/4年
	正面衝突事故	2 件以上/4年
新たな指標	工作物衝突事故	1 件以上/4年
	二輪車事故	3 件以上/4年

注1) 県管理は総事故件数が8件/4年以上の区間を選定指標確認の対象とする(8件/4年未満の箇所は対象としない)

注2) 第3期(ITデータ)の箇所はWEBアンケートに基づく選定箇所のため、4割減少の確認の対象としない。

注3) 対策前は最新の事故データに基づく条件で集計範囲を見直している

■ : 指標該当 — : 対象外

【県管理】中間評価

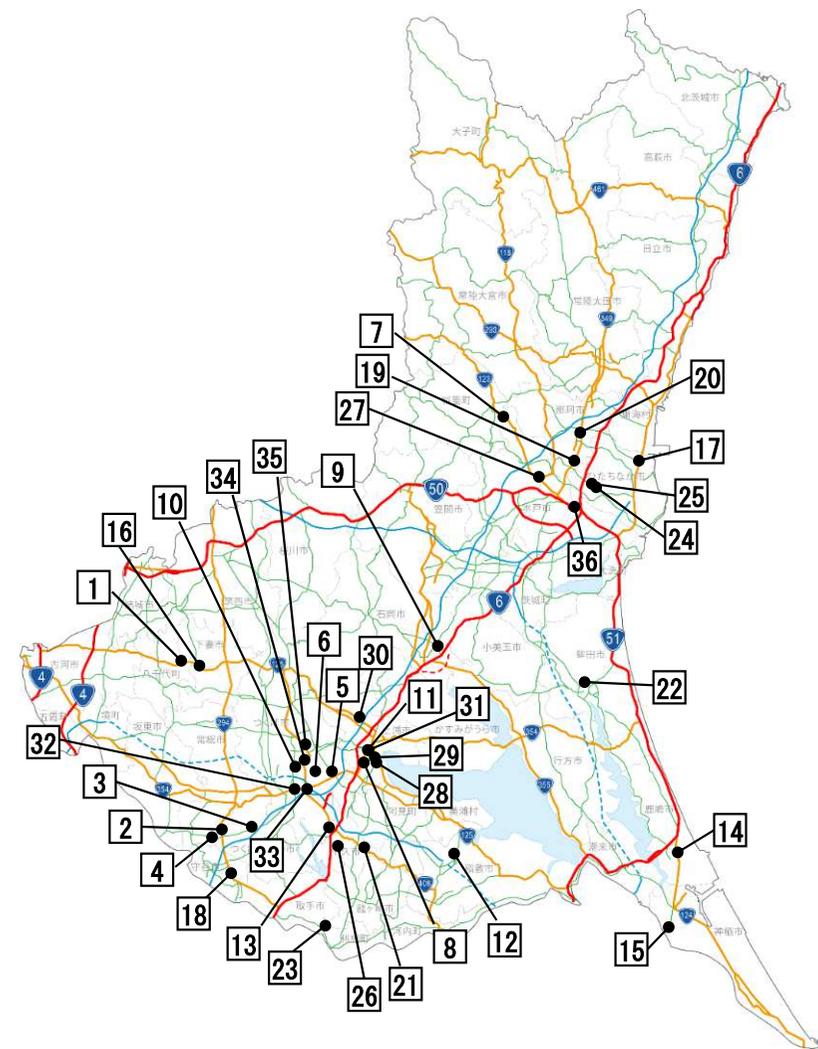
・R1年に36箇所に対策を完了し、中間評価の結果、事故件数の増加、着目事故の変化がないことが確認出来ます。

【R1対策箇所（中間評価箇所）】

※事故データ(R2~R3)

図番	区分	管理	路線名	市町村	箇所名	対策年	総事故件数 (件/年)			着目事故件数 (件/年)			
							対策前	対策後	総事故増加	着目事故	対策前	対策後	着目事故増加
1	第3期(事故データ)	県	一般県道125号	結城郡八千代町	貝谷十字路交差点	R1	2.0	0.5		追突事故	1.0	0.0	
2	第3期(事故データ)	県	一般県道294号	つくばみらい市	新宿交差点	R1	3.3	0.5		出会頭事故	0.8	0.0	
3	第3期(事故データ)	県	主要地方道3号	つくばみらい市	富士見ヶ丘2丁目(区間)	R1	3.3	0.5		人対車両	0.8	0.0	
4	第3期(事故データ)	県	主要地方道3号	つくばみらい市	小絹小北交差点	R1	3.3	0.0		追突事故	1.5	0.5	
5	第3期(事故データ)	県	主要地方道55号	つくば市	梅園2丁目交差点	R1	2.8	0.5		追突事故	1.8	0.5	
6	第3期(事故データ) 第3期(ITデータ)	県	一般県道244号	つくば市	二の宮3丁目(交差点)	R1	3.3	1.5		人対車両	1.0	0.0	
7	第4期(事故データ)	県	一般国道123号	東茨城郡城里町	那珂西(区間)	R1	3.0	0.5		右折時	0.8	0.5	
8	第4期(事故データ)	県	一般国道354号	土浦市	天川団地入口交差点付近(区間)	R1	2.3	1.0		左折時	1.3	0.0	
9	第4期(事故データ)	県	主要地方道7号	石岡市	東大橋(区間)	R1	3.3	0.0		追突事故	1.8	0.0	
10	第4期(事故データ)	県	主要地方道19号	つくば市	柳橋(交差点)	R1	2.0	0.0		右折時	0.8	0.0	
11	第4期(事故データ)	県	主要地方道24号	土浦市	千束町(交差点)	R1	3.3	1.5		追突事故	0.8	0.0	
12	第4期(事故データ)	県	主要地方道49号	稲敷市	江戸崎甲(区間)	R1	2.0	0.0		出会頭事故	0.5	0.0	
13	第4期(事故データ)	県	一般県道202号	つくば市	高見原(区間)	R1	2.3	1.5		出会頭事故	2.0	0.0	
14	H29事故危険箇所	県	一般国道124号	鹿嶋市	勤労文化会館西交差点	R1	4.0	1.0		追突事故	1.3	0.5	
15	H29事故危険箇所	県	主要地方道44号	神栖市	息栖(区間)	R1	2.0	0.0		右折時	1.3	0.5	
16	第5期(事故データ)	県	一般県道125号	下妻市	長塚(区間)	R1	2.8	0.5		右折時	0.5	0.0	
17	第5期(事故データ)	県	一般県道245号	ひたちなか市	長砂交差点	R1	3.0	2.5		出会頭事故	0.5	0.0	
18	第5期(事故データ)	県	一般国道294号	守谷市	百合ヶ丘3丁目交差点付近(区間)	R1	4.0	0.0		追突事故	1.8	0.0	
19	第5期(事故データ)	県	一般県道349号	那珂市	中台交差点	R1	2.8	0.0		正面衝突	0.3	0.0	
20	第5期(事故データ)	県	一般県道349号	那珂市	菅谷(交差点)	R1	2.25	0		出会頭事故	0.0	0.0	
21	第5期(事故データ)	県	一般国道408号	牛久市	岡見下宿交差点	R1	2.25	0		追突事故	0.8	0.5	
22	第5期(事故データ)	県	主要地方道2号	鉾田市	飯名(区間)	R1	2.25	0.5		追突事故	0.0	0.0	
23	第5期(事故データ)	県	主要地方道11号	北相馬郡利根町	羽根野(交差点)	R1	2.0	1.0		追突事故	1.3	1.0	
24	第5期(事故データ)	県	主要地方道38号	ひたちなか市	本町交差点	R1	2.5	0		出会頭事故	0.8	0.0	
25	第5期(事故データ)	県	主要地方道38号	ひたちなか市	武田(交差点)	R1	2.3	0.5		追突事故	1.5	0.0	
26	第5期(事故データ)	県	一般県道272号	牛久市	牛久消防署前	R1	2.25	1.5		追突事故	1.0	0.5	
27	第5期(事故データ)	県	一般県道118号	水戸市	袴塚3丁目交差点	R1	3.0	0.0		追突事故	1.5	1.0	
28	第5期(事故データ)	県	一般国道125号	土浦市	小松坂下交差点	R1	2.25	2		追突事故	1.3	0.0	
29	第5期(事故データ)	県	一般国道125号	土浦市	富士崎1丁目交差点	R1	2.25	0.5		出会頭事故	0.5	0.0	
30	第5期(事故データ)	県	一般国道125号	土浦市	大畑(交差点)	R1	2.8	1.0		右折時	1.0	0.0	
31	第5期(事故データ)	県	一般県道354号	土浦市	千束町交差点	R1	2.5	0		追突事故	0.8	0.0	
32	第5期(事故データ)	県	一般県道354号	つくば市	上横場交差点	R1	3.25	2.5		追突事故	1.0	0.5	
33	第5期(事故データ)	県	一般県道354号	つくば市	榎戸交差点	R1	2.75	1		追突事故	1.5	0.5	
34	第5期(事故データ)	県	一般国道408号	つくば市	松代2丁目(交差点)	R1	3.5	2.0		追突事故	2.5	1.0	
35	第5期(事故データ)	県	一般国道408号	つくば市	春日1丁目西交差点	R1	5.8	0.5		追突事故	1.8	1.5	
36	第5期(事故データ)	県	一般県道174号	水戸市	浜田2丁目交差点	R1	2	0		右折時	1.0	0.0	
									追突事故	1.8	0.0		
									右折時	1.8	0.0		
									右折時	1.3	0.0		

【R1対策箇所位置図（県管理）】



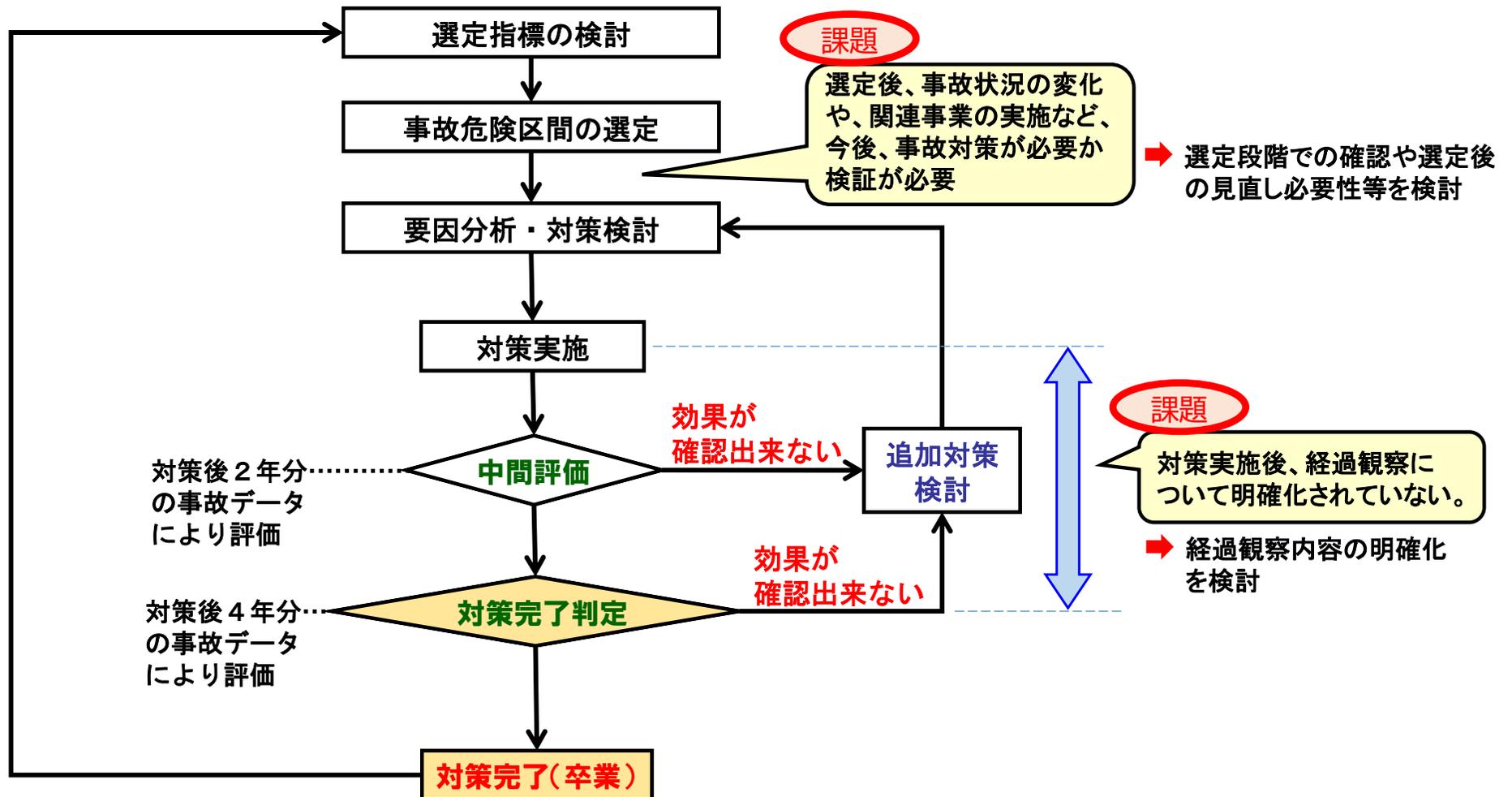
注1) 対策前は最新の事故データに基づく条件で集計範囲を見直している

7. 今後の事故ゼロプランの進め方について

今後の事故ゼロプランの進め方について

- ・これまで事故ゼロプランは茨城県内の幹線道路を対象に事故率、事故件数、地域に特徴的な事故が多発する箇所を優先して対策ができるように事故ゼロプランの選定ルール、対策完了ルールを作り、事故ゼロプランを推進してきました。
- ・その中で、近年は検討が必要な課題が出てきていると考えられます。
- ・課題に対して、今後検討し事故ゼロプランの推進ルールの改善案等を提示する予定です。

■ 近年の事故ゼロプラン推進上の課題について



※事故データの公表は、2年遅れとなるため、中間評価は対策実施の4年後、卒業判定は対策実施の6年後の評価

8. 今後のスケジュール

今後の安全性向上委員会のスケジュール

○本日の委員会

1. これまでの経緯
2. 第32回委員会における主な指摘事項
3. 合同現地診断結果
4. 路面標示について
5. ゾーン30プラスについて
6. 事故危険区間の対策完了(卒業)判定
7. 今後の事故ゼロプランの進め方について
8. 今後のスケジュール

○次回 安全性向上委員会(令和6年7月頃開催予定)

- ・ これまでの経緯
- ・ 交通安全対策検討(第7期事故危険区間)
- ・ 今後の事故ゼロプランの進め方について
- ・ 今後のスケジュール